

「街のシルバーシート」設置事業

受賞機関 東京都板橋区役所

はじめに

板橋区では、バリアフリー促進地区内、病院、高齢者福祉施設などへのアプローチ、駅前広場などで、高齢者や障害者など長時間歩行することが困難な人が休息できるように、「街のシルバーシート」を設置している。

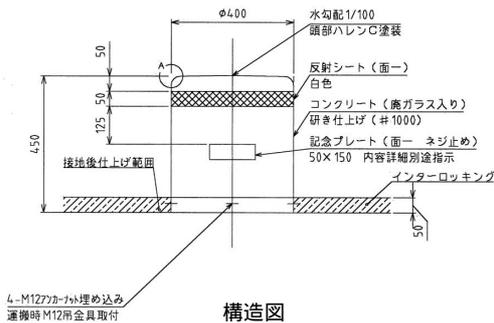


設置事例：グリーンホール前（板橋区栄町）

事業の概要

(1) 形状・材質

廃ワインびんを細かく砕き、白セメント等と混合させ円筒状（直径40cm、高さ40cm）に加工。一脚につき約100本のワインびんがリサイクルされている。また座席面に樹脂加工を施し、真冬などで冷たさが和らぐよう工夫している。



構造図

(2) 設置計画

平成16年度から20年度の5カ年で200脚を設置予定。平成16年度は41脚を設置した。

事業の特徴

(1) 環境対策

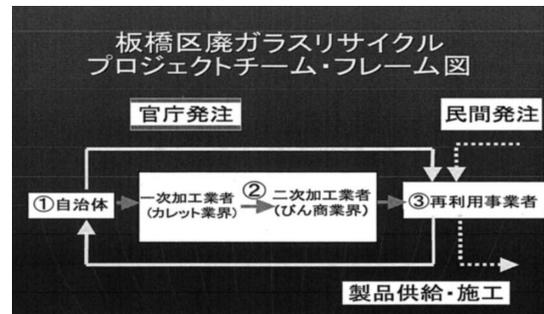
板橋区や民間企業・団体との協働体制による「板橋区廃ガラスリサイクル開発プロジェクトチーム」により、リサイクルが難しく、余剰問題が発生して

いた着色ワインびんを再利用した。

(2) コスト縮減

板橋区が回収したびんを加工業者に引き渡し、その材料を再利用事業者が購入し、区の発注で施工するシステムを作り上げているため、コストダウンにも成功した。

また、施工は土木事務所の直営で行うなど、工事費の低廉を図った。



工事発注体制の確保（板橋区）

材料供給体制の確立（カレット業界・びん商業界）

製品・商品の技術開発（再利用事業者）

(3) 住民参画

シルバーシートに貼られるシンボルマークのデザインを公募し、144人から206点の応募があり、美術家らによる選定委員会の審査を経て、下図のとおり決定した。



おわりに

板橋区では、区内で回収したガラスびんを破碎・再生加工した景観透水性舗装材やインターロッキングブロックなどを事業者と共同で開発し、公共施設や道路などに積極的に利用している。

本事業も、そのひとつとして取り組んだものである。今後も地域住民や関係企業・団体の協力を得て、廃ガラスリサイクルの推進やバリアフリーのまちづくりに努めていきたい。